

映画音楽名作選
スクリーンでよみがえる
名画選II

往年の映画の名曲をオーケストラでお贈りする公演の第2弾です。
大好評につき今回も後半は映像とともにお届けいたします！
笠井アナウンサーによる映画の魅力と知識を盛り込んだ
楽しいトークにもご注目ください。

指揮
竹本 泰蔵
管弦楽
群馬交響楽団

80日間世界一周
『大脱走』のマーチ
ロミオとジュリエット
荒野の七人
2つのパリ物語 ～男と女・ムーランルージュ～
風と共に去りぬ～タラのテーマ
交響組曲レ・ミゼラブル

ロビンフッドの冒険(映像付き)
カサブランカ(映像付き)

※出演者・曲目は変更になる場合がございます。

映像提供：株式会社プレントラスト

※公演内で使用する映像の一部です

※本公演はワーナー・ブラザーズ社とは関係ございません

ご案内役
笠井 信輔
(フリーアナウンサー)

2024.3.9[土] 14:00開演 (13:00開場) 高崎芸術劇場 大劇場

全席指定(税込) S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 (U-25: S席 2,500円 A席 2,000円 B席 1,500円)

※未就学児童はご入場いただけません ※U-25料金は公演当日25歳以下の方が対象です。当日年齢の分かる身分証明書をご持参ください

PROFILES



指揮／竹本 泰蔵 Taizo TAKEMOTO, Conductor

1977年に開催されたカラヤン・コンクール・ジャパンでベルリン・フィルを指揮し、第2位に入賞。カラヤン氏に招かれて、ベルリンを中心に研鑽を積む。帰国後は全国の主要オーケストラに客演し、クラシック・コンサートはもとより、オペラ、バレエ、ミュージカルなど第一線で活躍中。名古屋芸術大学特別客員教授。

特に「映画音楽」分野での活躍はめざましく、その代表的な活動は、1991年の「ファンタジア シネマ・ライブ」にさかのぼる。映像と生のオーケストラ演奏をシンクロさせるために、指揮のみならず、数フレーム単位での信号操作を行い、デジタル技術者との連携をサポート。この世界初のイベントの成功に大きく寄与し、当時のディズニー副社長、ロイ・E・ディズニー氏からその画期的な働きに多大な賛辞が送られた。他にも、日本各地で映画音楽コンサート手がけ、マイケル・ナイマン氏とのコンサートで「ピアノ・レッスン」組曲日本初演。「シェルブールの雨傘」のミッシェル・ルグラン氏との「生誕80年記念ジャパントツアー」での共演。「シャイン」のモデルとしても知られる天才ピアニスト、デヴィット・ヘルフゴット氏とのラフマニノフ作曲「ピアノ協奏曲第3番」共演など、歴史的なコンサートにも名を連ねている。

また、映画音楽のCDレーディングにも積極的に参加。オリジナル・スコアを使用したキングレコードの企画「シンフォニック・フィルム・スペクタキュラー」シリーズの指揮者として、「アラビアのロレンス」「インディ・ジョンス 魔宮の伝説」「ゴッドファーザー」「ベン・ハー」などその演奏録音はすでに100曲を超える。その他、エイベックス・クラシックス「泣いちゃった」、キングレコード「映画に聴くクラシック」など映画関連のCDは常に数多く発売されており、日本全国ほとんどのCDショップでその名を見つけることができる。

近年は、「映画の感動をライブ・コンサートで」との熱い想いをこめて、映画で使われたサウンドに出来るだけ忠実なスコアを復元したオーケストラ楽譜「オリジナル・シネマ・サウンドズ」(O.C.S)シリーズを製作。「風と共に去りぬ」「アラビアのロレンス」「ベン・ハー」「ドクトル・ジバゴ」「ひまわり」「シェーン」など、数多くの名作映画を積極的にコンサートで取り上げている。さらには、自身の企画・構成による「映像付きコンサート・シリーズ」を各地で展開。「ローマの休日」「カサブランカ」など往年の名画はもちろん、「トムとジェリー」やディズニー映画「ファンタジア」などのアニメーション映画も取り上げている。この「映像付きコンサート・シリーズ」は、単にイメージ映像を演奏に合わせてではなく、生演奏が、映像とぴったりシンクロする構成となっており、「音楽と映像の融合」ともいえるその手法はオーケストラコンサートの新しい楽しみ方として、全国各地で好評を博している。



ご案内役／笠井 信輔 Shinsuke KASAI, Navigator

1963年生まれ。東京都出身。A型(Rh-) 1987年フジテレビアナウンス部入社後2019年10月よりフリーになる。

趣味の映画鑑賞は新作映画を年間130本以上スクリーンで観るほど。

舞台鑑賞は特にミュージカル、とりわけ宝塚歌劇団好き。

趣味：映画鑑賞 舞台鑑賞 カラオケ

☆レギュラー番組

CS「男おばさん!!」/ニッポン放送「垣花正あなたとハッピー」/BS テレ東「都会を出て暮らそうよ BEYOND TOKYO」/Podcast「YACYBER プレゼンツ笠井信輔と如月蓮のアグリなカルチャー!」

☆主な出演番組

フジテレビ「とくダネ!」/フジテレビ「バイキング」/NHK「ごごナマ」/テレビ朝日「徹子の部屋」/テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティーQ さま!」/テレビ東京「土曜スペシャル 鉄道沿線ひたすら歩き旅」/BS テレ東「羽田土曜会」/「モーニング」/日本テレビ「有吉ゼミ」/フジテレビ「ボクらの時代」/テレビ東京「よじごじ」/毎日放送「林先生の初耳学」/タイム3/今夜は好奇心/タイムアングル/THE WEEK/FNN ニュース555 ザ・ヒューマン/ナイスディ/とくダネ! 発 GO ガイ!

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2022年度までに延べ646万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4ヶ国を巡る海外公演を実現、2014年には定期演奏会が500回に達した。群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されており、2020年に創立75周年を迎えた。また、2019年9月に開館した「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、2023年4月に就任した飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。

チケット料金(全席指定・税込)

S席 5,000円(U-25 2,500円) A席 4,000円(U-25 2,000円) B席 3,000円(U-25 1,500円)

※車椅子席、介助席のご購入は、高崎芸術劇場チケットセンターまで電話でお申し込みください。
※やむを得ず公演中止になる場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。

チケットのお求め(プレイガイドのご案内)

Web 12/8(金) 10:00~

■高崎芸術劇場メンバーズ

<https://takasaki-foundation.or.jp/theatre/membership.php>



■群馬交響楽団チケットオンライン

<http://yyk1.ka-ruku.com/gunkyo-s/>



電話 12/12(火) 10:00~

■高崎芸術劇場チケットセンター*

027-321-3900 (10:00~18:00/無休)

■群馬交響楽団事務局 (10:00~18:00/土・日・祝休)

027-322-4944 (チケット専用)

窓口 12/13(水) 10:00~

■高崎市施設プレイガイド*

(窓口発売初日10:00~受付開始)

※どちらの場所でも同じ座席をお売りしています。

- 高崎芸術劇場(2Fチケットカウンター) (10:00~18:00/無休)
- 群馬音楽センター (8:30~17:15/月休)
- 高崎市文化会館 (8:30~17:15/月休)
- 高崎シティギャラリー (8:30~17:15/無休)
- 箕郷文化会館・新町文化ホール・榛名文化会館・吉井文化会館 (8:30~17:15/月・火休)
- 高崎市倉渕支所(地域振興課) 高崎市群馬支所(地域振興課) (8:30~17:15/土・日・祝休)

■群馬交響楽団事務局 (高崎芸術劇場3F)

(10:00~18:00/土・日・祝休)

* 電話 窓口 は年末年始(12/29~1/3)はお休みとなりますのでご了承ください(群馬交響楽団事務局は除く)。



GTシンフォニック・コンサート

■ vol.5 オペラ・ガラ・コンサート 12/21(木) 18:30開演【チケット発売中】

【交通のご案内】高崎芸術劇場

〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1 TEL.027-321-7300

●JR高崎駅東口から徒歩5分(東京駅から新幹線約50分)

●関越自動車道・高崎インター・高崎玉村スマートインターから車で約15分(練馬インターから約60分)

※高崎芸術劇場に専用駐車場及び提携駐車場はありません。「近隣駐車場」「高崎芸術劇場シャトル」については高崎芸術劇場HP(右記のQR)をご覧ください。

